



今年度より進路指導部長になりました英語科の平野です。

休校が続くなか、1、2年生のスタディーサポート（ベネッセ）が延期になるなど、学習や行事に影響は避けられないでしょう。そんな中でも、進路指導部は、今年度の進路行事について、丁寧に考え、取り組んでまいります。どうぞよろしくをお願いします。

本日は3年生の皆さんに、3つのことをお伝えします。1、2年生の皆さんもぜひお読みください。

1 「今」の積み重ねが未来を拓きます

“Yesterday is history, tomorrow is mystery, today is a gift, that's why it is called the present.”という名言があります。history と mystery が韻を踏んでいて、present の「贈り物；現在」という2つの意味が効果的に使われています。gift という単語は、give と関係があり、古代北欧語の gipt に由来します。「与えられたもの」という意味です。今という時は、天に与えられたもの、という意味でしょう。大学受験に必要なとされる膨大な知識量は毎日漆塗りを重ねるように絶え間なく積み重ねないとはいけません。思考力や表現力は、日々鍛えてこそ深化します。みなさんの「今」は、まとまった時間が豊かに与えられています。単調さに忍従する時でもありますが、「今」を限りなく大切にし、勉強しましょう。

2 伴走者を大切にしましょう ～仲間と共にたたかおう～

受験はよく「団体戦」と言われます。長年教員をやっていて、その通りだと実感します。同じ目標に向かう友の力がいかに大きなものであるか、言うまでもありません。通常時であれば、附属高校で顔を合わせる仲間と、自然と切磋琢磨する雰囲気うまれます。担任や教科担当の教員ともたくさんの示唆を受けることができます。今は休校中で、そういう刺激を受けられませんが、私たちには想像力が与えられています。友達も同じように頑張っていると1日に何度も思い巡らしてください。先生たちも様々な方法でみなさんとコンタクトを取ろうとしています。ときどき想像してください。離れていても、同じ「団体戦」をみんなと戦い抜きましょう。なお、不安や疑問については、遠慮なく担任の先生にメールで問い合わせてください。教科も、進路指導部も、離れている時だからこそ、サポートに力を入れます。



3 積極的に情報発信します

社会全体が新型コロナウイルスと戦っている現下で、大学受験に関する行事や情報等も延期等の措置が取られています。少なくとも緊急事態宣言が出ている間は、オープンキャンパスや模擬試験等は実施されないと考えてよいのではないのでしょうか。そんな中、私たちは、進路選択のために必要と思われる情報に関しては、積極的に発信いたします。みなさんもアンテナをしっかりと張っててください。

最後に、ピンチはチャンス、という言葉があります。どんな苦境にあっても、それをチャンスに変えるエネルギーが人間には備わっています。「外に出ることができない」と考えるのではなく、「家で十分に勉強ができる」と自分に言い聞かせられれば強くなれます。決められた時間割で勉強するのはある意味楽かもしれませんが、自ら時間と課題を設定し、実行する習慣がつけば、またとない自立のチャンスになり、人生の宝となります。進路指導部としても学年の先生がたと力を合わせてみなさんを応援します。頑張りましょう。